

資質向上事業部 第3回 研修研究会 議事録		記録	中村 みどり
開催日時	平成24年9月16日(日) 11:00 ~ 12:10		
場所	ホテルマリックス 2階ミズン		
参加者	甲斐、藤澤、八重尾、吉田、中村 小島(事務局) 【欠席:木村、郡山、福永】		
検討議題	1. 資質向上事業の評価と活動内容報告 2. 会議開催のあり方について 3. 平成24年度実務研修について 4. その他		
《検討内容》 1. 資質向上事業の評価と活動内容報告 1) 平成24年度再研修・実務未経験者更新研修 について【担当部員:郡山・藤澤】 (研修受講生のアンケート結果および研修の実際から事業評価を行った) <u>(講師・ファシリテーターについて)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・研修プログラムにそっての研修が行われていた。 ・講義は午前中が良い。午後の講義はきついという意見が聞かれた。 ・講義の中で、実務に就くことを想定した発言をされており、意識付けのためにはよかったと思う。 ・演習について、各グループ進め方がまだらだったので、グループワークの進め方の講義も必要だったのではないかと感じた。 ・講師の無責任な経験談(例えば、昔はこうだった!)が無かったのでよかった。 <u>(資料について)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・事例のボリュームが多く感じた。(ペーパーを埋めるのに追われている印象があった) ・講義の途中、資料はどれを使うのかわかりにくかった。 <u>(研修環境について)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・縦長の会場だと後ろの受講生にはスクリーンが見えにくいと感じた。 ・グループワークの時、狭い会場ではほかのグループの声が聞こえて邪魔にならないかと思ったが気にならなかった。 <u>(その他)</u> <ul style="list-style-type: none"> ・更新研修を受ける姿勢から、受講者の意欲・意識に差があるように感じた。 2) 実務研修受講試験準備講習会 について【担当部員:吉田・福永】 (6月・9月の2日間開催 2日間とも 午前中:模擬試験、午後:講習会) <ul style="list-style-type: none"> ・1回目が終了し、結果が届いたが宮崎県の模擬の結果は低いものだった。 ・協会主催は50名弱、県社協主催は150名と聞いている。受講者数の差は何が原因か検討が必要。事業としては完全に赤字である。 → <ul style="list-style-type: none"> ・受講者の合格率を出してみても、率が高ければPRすべきである。 ●PRできるものかどうか、まず事務局で合格率を計算し研究会に報告する。 ・講習会にかかる時間が足りないのでは、日程の見直しが必要ではないか。実際、社協は講習会に時間をかけるため3日間かけて実施している。現在、実務研修受講試験準備講習会の企画委員が講師を兼ねており負担が大きい。講師は委員以外が行うことで、講習会の企 			

画・準備・評価がしやすくなるのではないか。

●講習会終了後にアンケート結果や今日出された意見を踏まえて日程等の再検討を行う。

3) 実務経験者更新研修（専門研修Ⅰ・Ⅱ） について【担当部員：甲斐・八重尾】

（講師および資料について）

- ・ 2回目更新研修では初めて依頼した講師であったが、「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」にも何らかの形で関わられている大学の先生方だったので、最近の情勢も交えながら、整理された内容の講義はわかりやすかった。
- ・ グループワークを行う際、司会・記録・発表者なしというスタイルは斬新で、よく意見が出ていた。
- ・ 2回目更新研修の講義中に流れたサービス担当者会議のDVDは不評だった。

（研修体系について）

- ・ 研修カリキュラム、研修の流れはよかった。
- ・ 2回目更新研修の2日目3日目は同じ講師が連続で行うのが良いと思われた。時間が足りないと感じた。

（研修環境について）

- ・ 問題はなかった。

2. 会議開催のあり方について

平成24年度再研修・実務未経験者更新研修の反省会 議事録および出席しての事業評価

- ・ 資質向上事業部として反省会へ出席したが、話しにくかった。
- ・ 会議のあり方として、会議の目的・テーマを明確にし、会議で検討した内容についてその結果や課題を明確にする必要がある。しかし、不十分なまま会議開催に至っている現状があるため対応策の検討が必要。

→ ●委員会のありかたや会議の進め方、記録様式等をまとめた簡単なマニュアル作成を行う。

3. 平成24年度実務研修について

平成24年度実務研修に向けて（再研修・実務未経験者更新研修の反省も踏まえて）

【提案事項】

- ・ 更新研修を県央、県北で開催したところ評判がよかったので、実務研修も2ヶ所で実施してはどうか。但し、2ヶ所で実施する場合の問題点として、以下の問題が考えられる。
 - ・ 会場はこれまでの研修で使用してきた門川町の会場が使用できるのではないか。
 - ・ 県央と県北、各1回の開催であれば経費および事務局のマンパワーも問題ないと思われるが3回開催となると今の事務局では体力気力的にも自信がない。マンパワー不足で迷惑をかけることが出てくるかもしれないと危惧している。
 - ・ 2会場開催となれば、県央会場では大人数集約できるホテル等を利用せざるを得ず、平日開催がやむを得ない状況である。

【理事会での協議事項】

以上の点について考慮した上でも、受講生や講師の移動にかかる利便性等に配慮して県央・県北の2会場で開催したいという意向について理事会にて協議に上、決定する。（実際には次回理事会開催時では間に合わないのので、メールにて議事録添付の上、同意を得る）その上で、資質向上検討委員会に理事会の意見を伝え共に協議していく。講師の確保については資質向上検討委員会に確認する。

【提案事項】

- ・昨年度まで資質向上検討委員会が主催していた実務研修前の事前学習会の内容を、本年度は資質向上事業部より提案したい。内容としては、下記の通りである。

(日 時) 平成24年10月28日(日) 10:00～

(会 場) 宮崎市内

(内 容) 実務研修を担う講師およびファシリテーターに必要な条件と役割(仮称)

(講 師) 梅光学院大学 准教授 吉島 豊録(よしじま とよろく)先生

(受講対象者)

例年まで、実務研修のファシリのみ限定していたが、今後講師等を担う立場として、『主任ケアマネフォローアップ研修』の修了者を含め対象者を以下のようにしてはどうか。

①宮崎県介護支援専門員協会が実施する全ての研修の中で、講師またはファシリテーターを担う予定の者

②平成24年度主任介護支援専門員フォローアップ研修受講生のうち、今後ファシリテーターを担う予定の者

(その他) 事前学習会を受講した者を平成24年度研修講師の条件としてはどうか。

人気ある講師のため年内は10月28日しか空いていないため日程変更は不可。

※講師予定の吉島先生は2回目更新研修で非常に評判が良く全国の介護支援専門員研修に関わられていることから推薦したい。

【理事会での協議事項】

以上の内容を踏まえ「事前学習会」の開催・あり方について、理事会にて協議の上、決定する。(実際には次回理事会開催時では間に合わないため、メールにて議事録添付の上、同意を得る)その上で、資質向上検討委員会にも承諾を得て実施する。企画運営の主体は資質向上事業部とする。

4. その他

資質向上事業部と資質向上検討委員会の在り方について

・資質向上事業部の立場として研修や研修終了後の反省会に出席するが、参加しにくい雰囲気があったり、意見を求められても意見が言いにくい雰囲気である。

・資質向上検討委員会のメンバーからも資質向上事業部との違いや、それぞれの在り方について疑問や不安が聞かれる。

→ ●資質向上事業部としての活動は初年度であり、その役割についても不明瞭の中手探りの状態でこれまでやってきたのが現状であるが、資質向上事業部の活動＝(イコール)資質向上委員会とは考えにくい。資質向上委員会の任期が今年度一杯であることから、次年度に向けて委員会メンバーの改選が必要になると予測される。何らかの形で委員会に部員が関わる構図で検討していきたい。また、改選にあたり現委員会メンバーと事業部メンバー等の意見交換の機会を設けることも必要と考える。

資質向上事業部研修研究会

次回開催予定：平成24年10月28日(日)

場所：宮崎市